

最高気温更新が続く日本の夏！ 高齢者の「室内熱中症」を防ぐ盲点とは？ 屋根の“遮熱塗装”で室温最大5℃抑制

近年、夏の猛暑は厳しさを増し、熱中症による救急搬送者数は高止まりを続けています。特に深刻なのが、日中にエアコンを適切に使用せず、室内で熱中症になる高齢者のケースです。また、7月・8月はゲリラ豪雨や台風による「雨漏り被害」が急増する時期でもあります。個人宅向けのリフォーム工事を手掛ける総合建設企業の株式会社ヤマヒサ（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：山田 久雄）では、この夏、少しの工夫で高齢者の命と健康、そして住まいを守ることに繋がる「夏のW（ダブル）災害対策」に繋がるリフォーム術をお伝えします。

**熱中症を防ぐために、
屋根遮熱塗装
をおすすめします！**

太陽の熱を反射し、建物の温度上昇を抑えることで、室内の温度を下げ、
熱中症のリスクを軽減します。

一般的な屋根
熱を吸収して
室内温度が上昇...

遮熱塗装
熱を反射して
室内温度をキープ！

室内温度
約 **32℃**

室内温度
約 **26℃**

室温の上昇を抑制
熱中症リスクを軽減
冷房効率がアップし
光熱費を削減

遮熱塗装で、家族の健康と快適な暮らしを守りましょう！

知られざる室内熱中症の脅威と、「遮熱塗装」×「内窓設置」によるWの光熱費削減効果環境省のデータでも、熱中症の発生場所の約半数は「住居」です。特にお年寄り暑さを感じにくく、エアコンの使用を我慢してしまう傾向があります。室内での熱中症を防ぐには、我慢に頼らない「涼しい家づくり」が必要です。そこでヤマヒサが提案するのが、外と内から住まいを涼しくするリフォーム術です。

- **外からの対策：屋根の「遮熱塗装」で室温を約3℃～5℃低減**
太陽光の赤外線効率よく反射し、屋根裏の温度上昇を抑えることで、室温の上昇を大幅に防ぎます。「たかが数度」と思われがちですが、エアコンの効きが劇的に

良くなり、設定温度を上げることができます。こちらは「そろそろ外壁や屋根の塗り替え時期かな」という定期メンテナンスのタイミングに合わせて遮熱塗料を選ぶことで、将来のメンテナンスと夏の快適性を同時に手に入れる「付加価値の高いリフォーム」として今、大変喜ばれています。

- **内からの対策：現在注文が増加中！補助金を賢く使った「内窓の設置」** 実は、室内に熱が流れ込む最大の原因は「窓（開口部）」です。既存の窓の内側にもう一つ窓を取り付ける「内窓設置」を行うことで、外からの熱気を遮断し、冷房で冷やした空気を外に逃がしません。さらに現在、国による大型の「省エネルギー補助金（先進的窓リノベ事業など）」が活用できるため、実質的な費用負担を大幅に抑えて設置できるチャンスとして、今リフォーム需要が爆発的に増えています。

熱中症を防ぐ！
内窓設置で
快適な室内環境に

冷暖房効率アップ 防音効果 結露の軽減 光熱費の削減

こんなお悩みありませんか？

- ✓ エアコンの効きが悪い
- ✓ 冬場はすきま風が寒い
- ✓ 光熱費が上がっている
- ✓ 窓の結露がひどい
- ✓ 窓から熱が入ってくる
- ✓ 外の音が気になる

暑さ・寒さの原因は、
実は**窓**にあります！

夏の涼しく
冬の暖かい
快適な空間に！

今の窓の内側に
もう1枚窓を
取り付けるだけ！

昨今の電気代高騰に悩む高齢者世帯にとって、健康を守りながら賢く光熱費を抑えられるこの「遮熱塗装＋内窓」の組み合わせは、まさに一石二鳥の熱中症対策です。

■会社概要

社名：株式会社ヤマヒサ
代表者：代表取締役社長 山田 久雄
本社所在地：大阪市北区太融寺町3番24号 日本生命梅田第二ビル
URL：<https://www.yamahisa.co.jp/>
創業年：1973年1月24日
資本金：4,000万円
事業内容：総合リフォーム、ハウジングネットワーク事業